

【単元の指導計画】

授業日時	学びの課程	学習活動・教材等	評価基準	評価方法
11月25日 (月) 13:30~14:20	習得活用	キャッシュレス化が進むことで、社会がどのように変化するか考える。 ・はじめてのお金の時間 【授業レポート①】	現金、クレジットカード、電子マネーそれぞれの長所と短所を踏まえて、キャッシュレス化が進むとどのように社会が変化すると考えられるか説明できている。	ワークシート
11月26日 (火) 10:45~11:35	習得活用	将来のお金の使い方について、注意すべき点を考える。 ・はじめてのお金の時間 【授業レポート②】	将来お金を使う際に、必要な支出、生活を充実させるための支出に分類し、どのようなことに注意すればよいのか説明できる。	ワークシート
11月28日 (木) 13:30~14:20	習得活用	消費者としての注意点を考える。 【授業レポート③】	消費者に認められている権利と、消費者トラブルの実例の解決策を考えると、消費者としての注意点を説明できる。	ワークシート
11月29日 (金) 10:45~11:35	習得活用	インターネット通信販売から、流通の合理化が進んでいること、その影響による社会の変化を考える。 【授業レポート④】	インターネット通信販売のサイトから、新しい流通のかたちなどを読み取り、どのように社会が変化すると考えられるか説明できる。	ワークシート
12月3日 (火) 10:45~11:35	活用	日本国民として、どのような力をつけていかなければいけないのかを考える。 【授業レポート⑤】	社会の変化に対応できるようにするためには、今後どのような力を身に付けるべきか説明できる。	ワークシート

【単元の評価基準】

観点1	観点2	観点3	観点4
現在の社会にみられる課題・将来の自己の働き方に関心を持ち、課題学習やグループ活動に意欲的に参加できている。	具体的な事例に自分の考えをまとめ、班の中で意見を述べたり、ワークシートにまとめたりすることができる。	資料から、課題に関する事実を読み取ることができる。	企業が消費の安全や消費者との取引における公正さを確保する責務があること、消費者が抱えるトラブルの具体的な事例について、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

【指導と評価計画】

1 時間目

	学習活動	指導上の留意事項・教材等	評価基準（観点） 評価方法
導入	<p>○課題意識を持たせる動機付け</p> <p>(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催により、多くの外国人が訪日することを踏まえ、準備が必要なことを考え、発表させる。</p> <p>(2) 政府がキャッシュレス化を推進していること、日本が他国と比べキャッシュレス化が進んでいないことを資料から読み取らせる。</p> <p>(3) 身近にあるキャッシュレスに関するものを挙げさせ、キャッシュレス化が急激に進んでいることに気付かせる。</p>	<p>・ICT機器を活用し、大型TVに資料を提示する。</p> <p>・教材「はじめてのお金の時間」 テーマ1 お金を使う ③キャッシュレスってなに？</p>	
展開	<p>○本時のめあてを提示する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【本時のめあて】キャッシュレス化が進むと日本はどのように変化するか考え、説明できる</p> </div>		
	<p>○学習課題に取り組む</p> <p>習得</p> <p>(1) 教科書・資料を参考に、現金、キャッシュレス（クレジットカード、電子マネーなど）の仕組み・特徴をワークシートにまとめる。</p> <p>・管理通貨制度 ・プリペイドカード（前払い） ・クレジットカード（後払い）など</p>	<p>・ICT機器を活用し、大型TVに資料を提示する。</p> <p>・教材「はじめてのお金の時間」 テーマ1 お金を使う ③キャッシュレスってなに？</p>	<p>・ワークシートに本時で必要な基本的な語句・説明を記入できている。</p> <p>【知識・理解】</p>
	<p>活用（多面的・多角的に見る）：班活動</p> <p>(2) キャッシュレスの長所、短所や課題を、仕組み・特徴から見出す。</p> <p>(3) キャッシュレスの仕組み・特徴・長所・短所・課題を踏まえて、身近なものがどのように変化するか考える。</p> <p>(4) 全体で発表し、交流する。</p>	<p>・つまづいている生徒に、机間指導を行い支援する。</p> <p>・マインドマップを使い関連付け、多くの考えを出す。</p>	<p>・キャッシュレス化が進むと身近なものがどのように変化するか具体例を説明できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
まとめ	<p>○学習課題に取り組む</p> <p>(1) ワークシートにキャッシュレスの長所と短所、課題を踏まえてキャッシュレス化が進むと起こりうる社会の変化と、そのために自分自身が身に付けられないといけないことを記入できている。</p>		

2 時間目

	学習活動	指導上の留意事項・教材等	評価基準（観点） 評価方法
導 入	<p>○課題意識を持たせる動機付け</p> <p>(1) 前時の振り返りで、キャッシュレス化が進むことでお金との関わり方が変化していくことを再度確認する。</p>		
展 開	<p>○本時のめあてを提示する</p>		
	<p>【本時のめあて】将来、お金を使う時の注意点を提案できる</p>		
	<p>○学習課題に取り組む</p> <p>習得</p> <p>(1) 消費生活に関わる語句を教科書で確認し、ワークシートにまとめることで、消費生活に関する基礎知識を身に付ける。</p> <p>(2) スライドで、平均的なひとり暮らしの支出（1ヶ月）の例を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を活用し、大型 TV に資料を提示する。 ・教材「はじめてのお金の時間」 テーマ 1 お金を使う ②お金はかしく使おう 	<p>・ワークシートに本時 で必要な基本的な 語句・説明を記入 できている。</p> <p style="text-align: center;">【知識・理解】</p>
<p>将来のお金の使い方設計図を作成し、お金を使う時の注意点を考えよう</p>			
	<p>活用（多面的・多角的に見る）：班活動</p> <p>(3) 教科書・スライド・資料を参考に、「将来のお金の使い方設計図」（将来のひとり暮らしの生活を想像しながら、食費などの項目ごとに1か月に使う金額を一覧化したもの）を作成する。</p> <p>(4) 班の中で発表し、交流する</p> <p>(5) 「将来のお金の使い方設計図」の作成を通して、お金を使う時の注意点を考える。</p> <p>(6) 全体で発表し、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つまずいている生徒に、机間指導を行い支援する。 ・「必要なもの」か「欲しいもの」か考えられるよう問いかけをする。 	<p>・現実的な生活を想定し、収入に見合った支出を考えることができる。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】</p> <p>・「必要なもの」か「欲しいもの」かを考えることができる。</p> <p style="text-align: center;">【技能】</p>
ま と め	<p>○学習課題に取り組む</p> <p>(1) ワークシートに、「将来のお金の使い方設計図」作成を通して気付いたこと、考えたこと、実生活の中で注意すべきことを記入できている。</p>		

3 時間目

	学習活動	指導上の留意事項	評価基準（観点） 評価方法
導 入	<p>○課題意識を持たせる動機付け</p> <p>(1) 1 時間目に考えたキャッシュレス化が進むことで起こり得る消費者トラブルについて発表させる。</p> <p>(2) 人口 1,000 人当たりの消費者生活相談件数の推移を確認し、高齢者と 20 歳代の相談件数が多いことに気付かせる。</p> <p>(3) 自分たちが成年年齢 18 歳に初めて該当する学年であることを理解させる。</p>	<p>・ICT 機器を活用し、大型 TV に資料を提示する。</p>	
展 開	<p>○本時のめあてを提示する</p>		
	<p>【本時のめあて】消費者トラブルの現状を踏まえ、消費者トラブルに遭わないための注意点を説明できる</p>		
	<p>○学習課題に取り組む：班活動</p> <p>習得</p> <p>(1) クイズを通して「契約」について考え、理解を深める。</p> <p>(2) 消費者の権利や消費者問題・トラブルに関わる語句を教科書で確認し、ワークシートにまとめることで、消費者の権利に関する基礎知識を身に付ける。</p>	<p>・ICT 機器を活用し、大型 TV に資料を提示する。</p>	<p>・ワークシートに本時で必要な基本的な語句・説明を記入できている。</p> <p>【知識・理解】</p>
<p>提示された 3 つの事例が消費者トラブル（詐欺）かどうか理由を考える</p>			
	<p>活用（多面的・多角的に考える）：班活動</p> <p>(3) 提示された 3 つの事例について、状況を具体的にイメージする。</p> <p>(4) 各事例について詐欺かどうか、理由を考える。</p> <p>(5) 全体で発表し、交流する。</p>	<p>・つまずいている生徒に、机間指導を行い支援する。</p> <p>・「これは詐欺である。なぜならば・・・」と説明できるよう、促す。</p>	<p>・「明確な理由」を考えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
ま と め	<p>○学習課題に取り組む</p> <p>(1) ワークシートに「詐欺か詐欺でないか」、「詐欺の場合は、詐欺と言える明確な理由」を記入できている。</p> <p>(2) 本時の活動を通して、消費者トラブルに遭わないための注意点を記入できている。</p>		

4 時間目

	学習活動	指導上の留意事項	評価基準（観点） 評価方法
導入	<p>○課題意識を持たせる動機付け</p> <p>(1) 前時のまとめを発表し、交流する。</p> <p>(2) Amazon Go の店舗映像を見ながら、商業や流通の過去・現在・未来について考え、発表させる。</p>	<p>・ICT 機器を活用し、大型 TV に資料を提示する。</p>	
展開	<p>○本時のめあてを提示する</p>		
	<p>【本時のめあて】インターネット通信販売から今後の日本がどのように変化していくか説明できる</p>		
	<p>○学習課題に取り組む：班活動</p> <p>習得</p> <p>(1) 商業や流通に関わる語句を教科書で確認し、商業や流通の仕組みについてワークシートにまとめる。</p> <p>・小売業者・卸売業者・流通・商業・運送業・倉庫業</p> <p>・直接仕入れ・一括仕入れ</p>	<p>・ICT 機器を活用し、大型 TV に資料を提示する。</p> <p>・小売業者、卸売業者については図説を行う。</p>	<p>・ワークシートに本時で必要な基本的な語句・説明を記入できている。</p> <p>【知識・理解】</p>
<p>インターネット通信販売の特徴から、未来の商業や流通がどのように変化するかを考える</p>			
	<p>活用（多面的・多角的に考える）：班活動</p> <p>(2) インターネット通信販売のトップページ（配布資料）から、インターネット通信販売の特徴、長所や短所、既存の商業・流通と違う点を見出す。</p> <p>(3) (2)を踏まえて、今後の商業や流通がどのように変化するか考える。</p> <p>(4) 全体で発表し、交流する。</p>	<p>・つまづいている生徒に、机間指導を行い支援する。</p> <p>・班の中で話し合いを進め、多くの考えを出す。</p>	<p>・インターネット通信販売が普及すると商業や流通がどのように変化するか具体例を説明できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
まとめ	<p>○学習課題に取り組む</p> <p>(1) ワークシートにインターネット通信販売の長所や短所、既存の商業・流通との違いを踏まえて、インターネット通信販売が普及することで起こり得る社会の変化と、そのために自分自身が身に付けないといけないことを記入できている。</p>		

5 時間目

	学習活動	指導上の留意事項	評価基準（観点） 評価方法
導入	<p>○課題意識を持たせる動機付け</p> <p>(1) 前時のまとめを発表し、交流する。</p> <p>(2) 10 年後の日本社会や経済はどのようになっているのか、「10 年後になくなる仕事」一覧を提示し、考えさせる。</p>	<p>・ICT 機器を活用し、大型 TV に資料を提示する。</p>	
展開・まとめ	<p>○本時のめあてを提示する</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【本時のめあて】社会の変化に対応するために、どのような力を身に付けるべきか説明できる</p> </div>		
	<p>○学習課題に取り組む：班活動</p> <p>活用（既習内容のまとめ）：班活動</p> <p>(1) 1～4 時間目の学習内容を振り返り、各課題に対しての自分の考えやポイントを再確認し、端的にまとめる。</p> <p>1 時間目：キャッシュレス化と社会の変化</p> <p>2 時間目：将来のお金の使い方設計図</p> <p>3 時間目：消費者トラブルに遭わないために</p> <p>4 時間目：インターネット通信販売の普及と商業・流通の変化</p> <p>(2) 社会の変化を踏まえ、変化に対応できるようにするためには、どのような力を身に付けられないかを総合的に考える。</p> <p>(3) ワークシートに考えをまとめる。</p>	<p>・ICT 機器を活用し、大型 TV に資料を提示する。</p> <p>・つまずいている生徒に、机間指導を行い支援する。</p> <p>・個人で考えが深まらない場合は、班で話し合いを行うよう促す。</p> <p>* 評価ポイント</p> <p>● 今後、日本の社会にどのような変化が起きるか説明できている</p> <p>● その社会の変化に合わせて、なぜそれを学び・身に付けておくべきかを記入している</p>	<p>・ワークシートに 1～4 時間目で学んだ知識を端的にまとめて記入できている。</p> <p>【活用】</p> <p>・社会の変化を具体的に想定し、その変化に対して「どのような力を身に付けられないか」といけなにか」を総合的にまとめることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>